

EBPMの更なる推進に向けて

慶應義塾大学総合政策学部 教授
東京財団政策研究所 研究主幹
中室 牧子

行政データとは



出生
保育所利用



児童扶養手当
就学援助



雇用保険
納税



医療保険
介護保険

□行政目的のために国や地方自治体によって業務を通じて収集されるデータ

□統計調査（国勢調査など）とは異なり、必ずしも調査目的で集められたデータではなく、あくまで業務の一環で収集される。

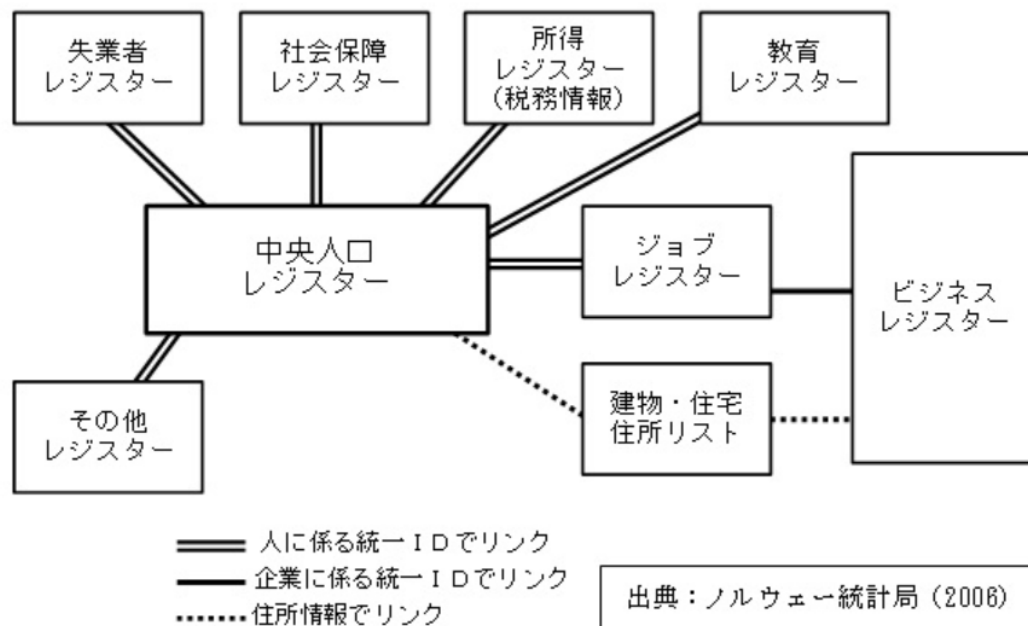
国勢調査に行政データを用いる

□ 北欧諸国で目立つ動き

□ オランダ、ベルギー、スウェーデン、オーストリアなどの9か国で採用（2015年段階）

□ 国勢調査の実施にかかるコストの削減や、統計としての質の担保を目的とする

図4 ノルウェー国勢調査で使われるデータソース

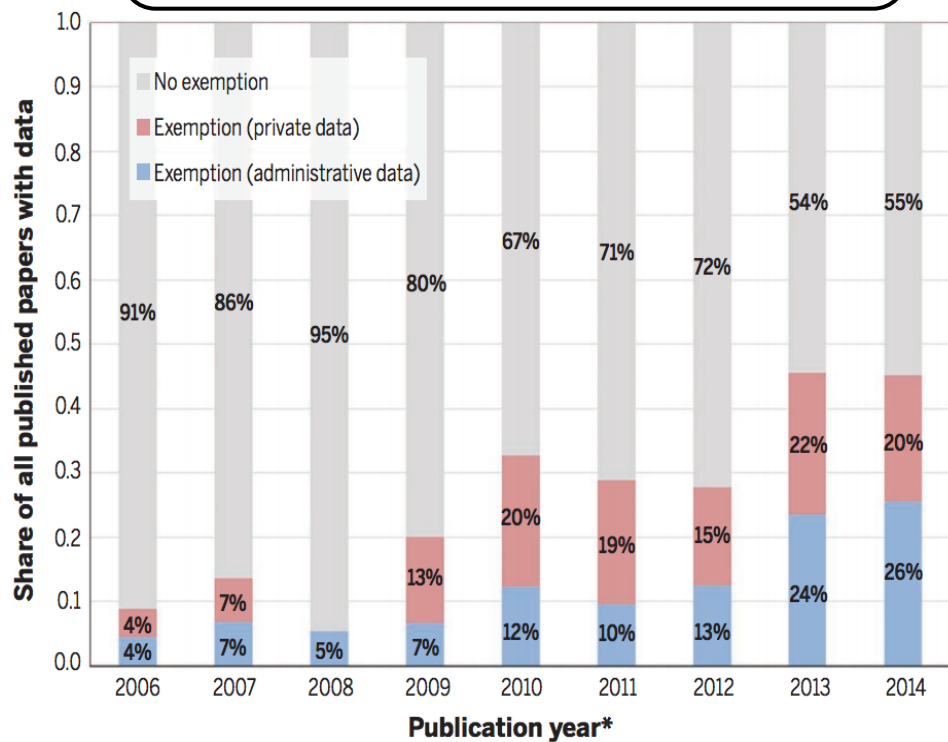


ノルウェー国勢調査における行政記録データの接続
(総務省のHPより)

研究利用が進む行政データ

トップの国際学術雑誌に掲載された論文は行政データを利用したものの割合が増加。

米国のトップ経済学者らは、米国内の行政データ利用が欧州と比べると遅れていることに懸念を表明。



(出所) Einav and Levin (2014), *Science*



D. Card



R. Chetty



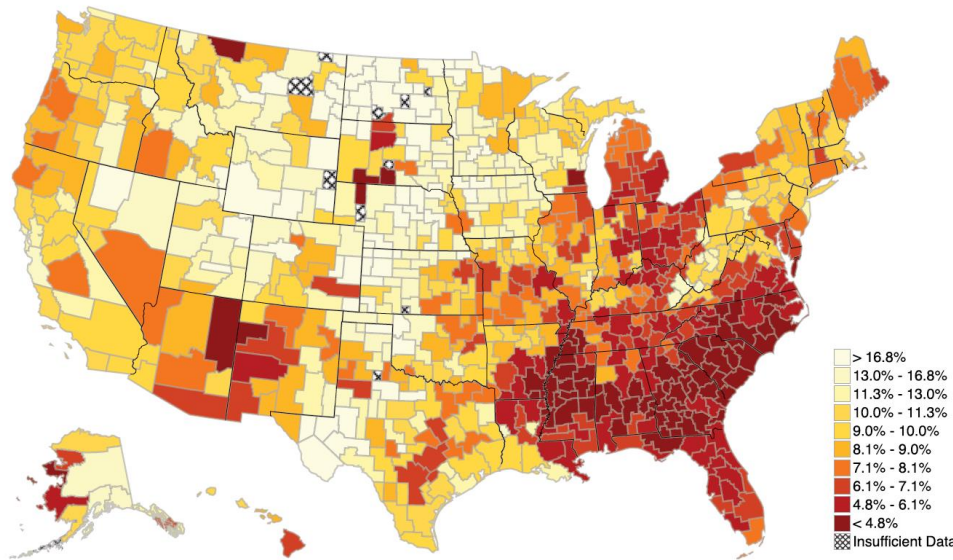
M. Feldstein



E. Saez

行政データを用いた研究

将来（親よりも）高い所得を得る確率が高い地域はどこか？



- 税に関する行政記録と国勢調査を照合して推計。「白い地域」は親よりも高い所得を得られる確率が高い地域、「赤い地域」はその確率が低い地域。
- 貧困の連鎖が生じる地域の特徴がわかる。
- “Moving to Opportunity”: 米国住宅都市開発局とハーバード大学の研究者が共同で、低所得の家族を、赤い地域→白い地域への引っ越しを支援するバウチャー券を配布するというランダム化比較試験

赤 = 下降移動、白 = 上昇移動

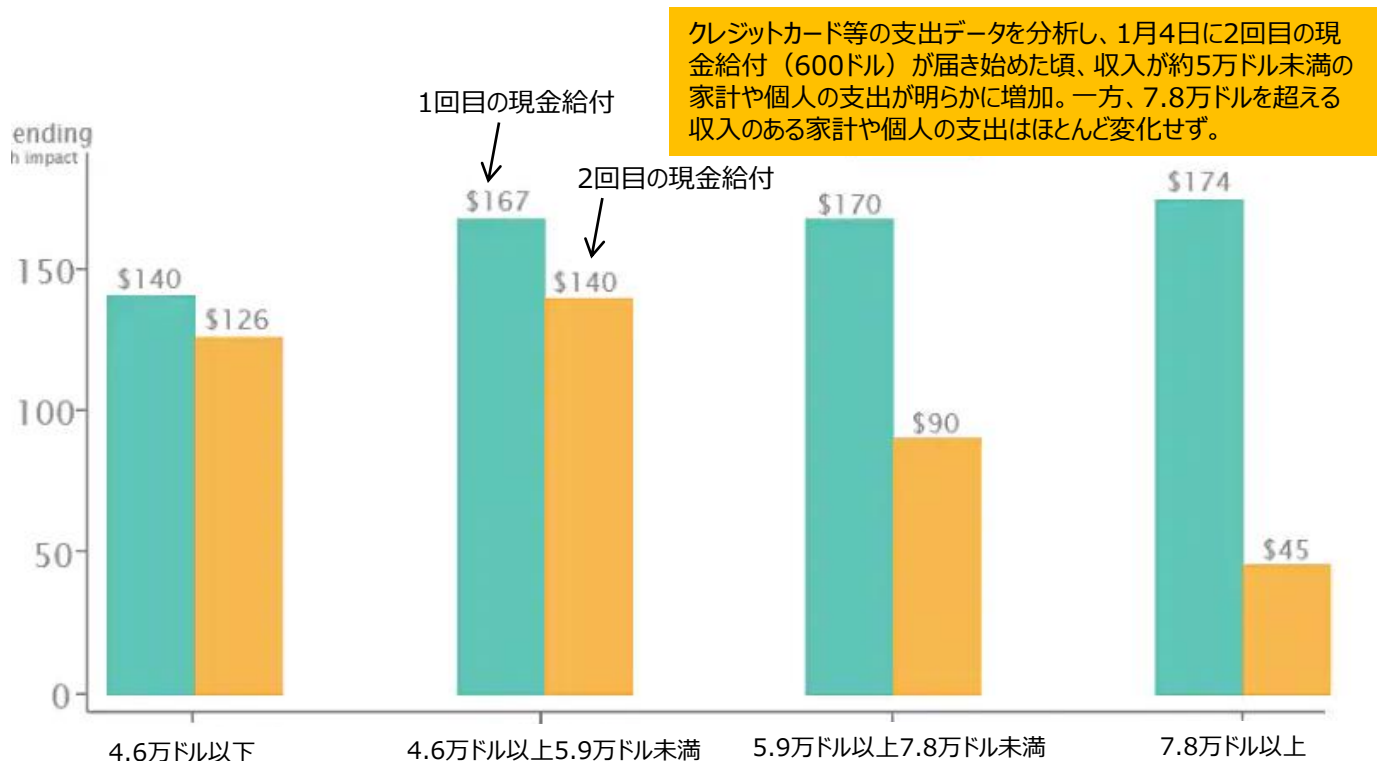
Source: *The Opportunity Atlas*: Chetty, Friedman, Hendren, Jones, Porter 2019

コロナ対策はうまくいったのか

- ハーバード大の経済学者グループ（Opportunity Insights）は、公的統計と民間企業から提供された匿名加工の支出、収益、雇用などに関するリアルタイムデータを照合して、分析を行い、Covid-19が「いつ」「誰に」「どのような」影響をもたらしたのかを細かに分析。
- 低所得世帯への景気刺激策は、個人消費を大幅に増加させたが、COVID-19ショックの影響を最も受けた企業（例えば飲食業）にはほとんど流入せず、雇用にプラスの効果をもたらさなかった。中小企業に対する融資は、中小企業の雇用に2%しか増やさず、雇用に1件増加させるのに37万7,000ドルものコストがかかったことになる。
- 総需要を刺激したり、企業に流動性を提供したりする伝統的なマクロ経済手段では、健康上の懸念から個人消費が制限された場合に雇目を回復するのに十分ではない。パンデミックの際には、社会保険によって経済的苦難を軽減する方がより効果的。

78,000ドルの壁

- 米国における第2回目の給付金は、78,000ドル以上の家計にとって、消費を増加させる効果が低く、逆に貯蓄を増加させている。
- 低所得世帯が依然として不況下で雇用を回復させられずにいる中、高所得層にとっては景気後退期を脱した。バイデン政権下における定額給付金の上限が75,000ドルとすることの根拠となった。



(出所) The Washington Post, January 26, 2021

LAUNCH MATCHED EDUCATIONAL DATA

WHEN

31 January 2023
15:30 – 17:00

WHERE

Zoom AND
CBS – Auditorium PHRs20
Porcelænshaven 20, Stuen, Frederiksberg

ABSTRACT

The Matched Educational Data, is a groundbreaking new data base, which has been developed by Statistics Denmark (DST) with funding from Danish Research Data for the Social Sciences (DRDS). It allows researchers a unique possibility to look into the classrooms of Danish public schools, to see which topics are being taught to which groups of students and by whom on any given time and day.

We hope you will join us as we launch the MED registry, which is about to be released through Statistics Denmark's research service.

Kindly forward this invitation to interested colleagues and other contacts who this invitation has not reached.

PROGRAM

Welcome

/ Statistics Denmark

Vision and purpose

/ Copenhagen Business School

Content and quality

/ Statistics Denmark

Application: Teacher

value added

/ Danish Economic Councils

Drinks and snacks

IN-PERSON

PARTICIPATION

The auditorium has capacity for 80 people.

Sign up for in-person participation to secure a spot.

ONLINE PARTICIPATION

Sign up for online participation to receive a Zoom link via e-mail.

SIGN UP

<https://forms.gle/f1th4nqgwkFgsW1v8>

CONTACT

Eva Lotti Hansen:

EBR@DST.DK

Christian Vittrup:

CVI@DST.DK

欧州では何が起きているのか。

- 0-19歳の国内の全公立学校について、どのクラスで、どの生徒たちが、どの先生に、どの内容を教わったのかが、所与の時間と日付についてわかるパネルデータを公開。
- 海外の研究者も分析するチャンスがある。

日本の現在地

- 政府統計の元データの研究利用が、提供まで1年以上の時間がかかる
 - ➡ データの提供を迅速化・円滑化
(2023年度中に平均1か月以内、2024年度中に平均1週間以内、かつ、遅くとも4週間での提供を実施)

- 医療のレセプト情報の研究利用は、申請から利用までにかかる日数が平均390日
 - ➡ データの提供を迅速化・円滑化
(平均390日→2024年秋までに原則7日)

- アメリカ・テキサス州のTexas Education Research Center
 - 2006年創設
 - Texas Education Agency (TEA), Texas Higher Education Coordinating Board (THECB), Texas Workforce Commission (TWC)のデータを集約
 - データセンターは、州内の複数の大学に置かれている。